

子どもの心の診療拠点病院機構 推進事業



三重県健康福祉部こども局
三重県立小児心療センターあすなろ学園



平成21年度事業の概要

1 診療支援・連携



2 研修事業

3 普及啓発・情報提供

1 診療支援・連携(1)

①関係機関の個別事例に対する医療支援

・児童相談所に対する定期的な医師の派遣

県内3箇所(／5箇所)の児童相談所へ月3回

児童精神科医師を各1名派遣し、相談業務を行なう

平成20年度相談実績 93名

内訳 6歳以下 36名

7～12歳 37名

13歳以上 20名

・地域医療機関でのサテライトクリニック開設

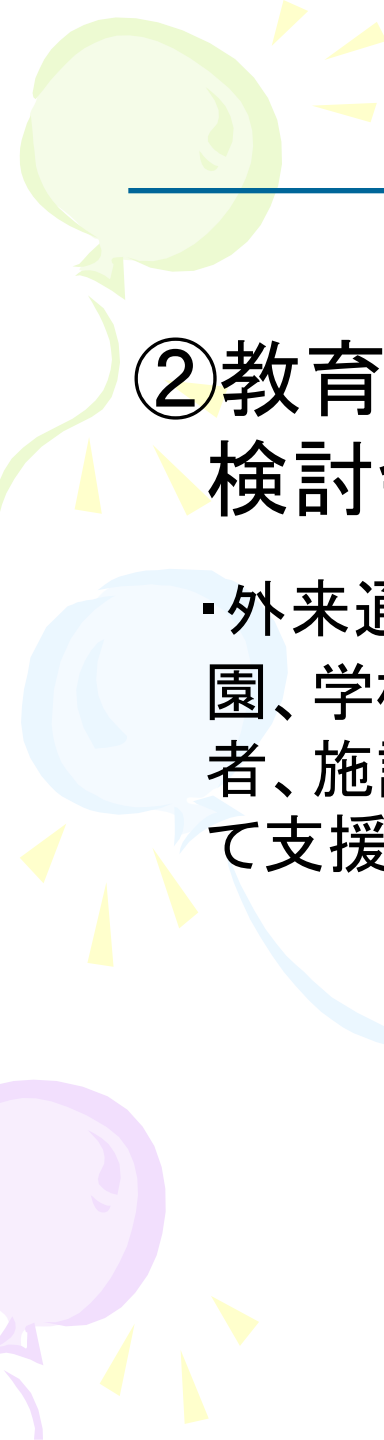
あすなろ学園への定期通院が必要なケースであっても、遠方である等地理的に困難な場合がある。その場合でも、診察が受けられるように地域の医療機関においてサテライトクリニックでの外来診療を実施している。

月3回 第2・4火曜日 第3金曜日

・児童自立支援施設のカンファレンスに対する医師派遣

毎月医師1名を派遣

・特別支援学校に対しての医師派遣



②教育・保健・福祉関係機関を集めた個別支援 検討会の開催

- ・外来通院中および入院中のケースについて保育園、幼稚園、学校、児童相談所、保健師、市町子ども障害福祉担当者、施設を集め、拠点病院の医師、ケースワーカーなどを交えて支援の方法を検討する

③当院職員による保育現場巡回指導による早期支援の中で治療が必要な児（発達障害を含む）に対する医療支援

④虐待等を受けた子どもの一時保護委託入院

⑤家族統合を含む地域での医学的支援

・地域の小児科、精神科診療所・クリニック、大人の精神病院との連携

2 関係者研修

①精神科医師や小児科医師に対して研修

・症例検討会、外来陪診、入院治療等

- ・児童青年期精神科医療における、基本的な面接技法、診断技術、薬物療法、発達支援(療育)、家族療法など包括的な医療を身に付ける。
- ・それらを基に治療計画を立案し実践する能力を身に付ける。
- ・外来及び病棟における各種の集団療法(発達支援(療育)、SST、レクレーションなど)に参加し、治療技術の取得や子どもの集団力動に関わる。

②保健師、保育士、教員等に対して研修

・症例検討・巡回指導等現場研修

・学校現場、保育現場における気になる子どもに対応するスキル・指導力を身に付け、関係機関との調整能力の向上を目標に、あすなろ学園において1年間の専門研修を行なう。

対象者：市町保育士、教員、保健師

研修内容：現場研修（外来療育、病棟、分校等）

県内市町巡回指導

学園内研修（疾患別研修会、園内研究発表会、事例検討会、園内行事等）

関係機関団体への研修

3 普及啓発・情報提供

- あすなろシンポジウムを開催し、子どもの心の諸問題に関して広く情報の提供を行う。

【子育て支援シンポジウム】

日 時：平成21年7月23日（木）10時～16時30分

第1部 講演会

第2部 シンポジウム

場 所：三重県総合文化センター 県文化会館中ホール

定 員：900人

概 要：「これからの地域子育て支援を考える～不登校・ひきこもりから透(み)えてくるもの」をテーマに医療・福祉・心理・教育の関係者を招き、不登校の特徴や引きこもりについて理解を深め、より良い対応のあり方を考える。